



京臨技会報

January 2014
No. 50

Contents:

TOP(行事の写真)	1
新春のご挨拶	2
公開講演会報告	3
受章・表彰の御礼	4
第4回理事会議事録	5
第5回理事会議事録	6
全国検査と健康展	7

京臨技公開講演会 平成25年11月17日(日)



(報告は3ページ)

全国検査と健康展 京都会場 平成25年10月26日(土)



(報告は7ページ)

発行所 (一社)京都府臨床検査技師会

発行責任者 今井 秀一

編集者 白波瀬 浩幸

〒606-8395 京都市左京区

東丸太町9-1 マンパワービル 3F

TEL・FAX 075-752-5090

E-mail : kamt-office@umin.org

URL : <http://plaza.umin.ac.jp/kamt/>

会員専用ページ: ID kamt PW kyoringi

新春のご挨拶

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、よき新春をお迎えのことと存じ上げます。

日頃より、技師会活動にご理解ご尽力をいただき、京臨技の事業も計画通り実施されており、大変感謝申し上げる次第です。

昨年度、会員数が念願の 1000 名（1011 名）を超えました。

京臨技市民公開講演会（最新のケニア HIV・エイズ事情～NPO 法人イル

ファ稲田頼太郎博士講演）を、京臨技初の京都府の後援を頂き開催致しました。日臨技全国検査と健康展を、日本臨床検査専門医会より 3 名の医師派遣を受け京都保健衛生学校で開催致しました。

湯浅宗一顧問（前京臨技会長、前京都府立医大附属病院臨床検査技師長）が、秋の叙勲において瑞宝双光章を受章されたことは、京臨技にとっても名誉なことでした。

その年の世相を反映する「ユーキャン新語・流行語大賞」が 4 つも選ばれ、豊作の特例年だそうです。2020 年に東京オリンピック誘致が決まり大変うれしいことでしたが、その旗振り役の大物政治家が「お・も・て・な・し」を受けて大変なことになっています。

台風 18 号は経験のない豪雨をもたらし、名勝嵐山の桂川の氾濫、福知山・舞鶴は由良川の氾濫、日本各地に竜巻被害、四国四万十市の気温は 40℃ 越え日本一暑い所となり、また福島原発ではタンクの汚染水漏れは、海に垂れ流しと、数々の異常気象は神々の怒りの「倍返し」かも知れません。安倍内閣総理大臣は「今でしょ！」と秘密保護法案を衆参で議決してしまいました。「じゃじゃじゃ」将来、大変なことになりはしないかと心配です。事業年度は、残り 3 か月となりましたが、まだまだ大事な事業も控えております。

平成 26 年度は役員改選時期です、会員皆様には理事への立候補をお願いしたいと思っております。また、日臨技も新しい仕事分野として、患者に「検査説明・相談のできる技師」育成を目指す取り組みがなされております。育成に向け各都道府県においても講習会が開催され、多くの会員の参加が期待されます。多くの臨床検査技師が今までと違った医療現場で活躍できるチャンスになると思います。

消費税の増税、診療報酬の実質引き下げを検討と、我々には厳しい年になりそうですが、

今年も、皆様の絶大なるご支援ご協力を頂きますようお願いし、新年の挨拶に変えさせていただきます。



2014 年 1 月吉日

京臨技会長 今井 秀一

生涯教育研修会報告書

事業部 事発番号 第 13-010 号

行事名：一般社団法人京都府臨床検査技師会市民公開講演会

『最新ケニア HIV/エイズ事情 現状と課題』

日時：平成 25 年 11 月 17 日 14:00～17:00

場所：京都リサーチパーク西地区 4 号館ルーム 1

主題：最新ケニア HIV/エイズ事情 現状と課題

講師：稲田頼太郎博士(NPO 法人イルファ-副理事長)

参加数：総数 43 人 京臨技会員：26 人

報告者：荒賀智永（綾部市立病院）

<内容>

市民公開講演会として市民の方、会員の方に HIV/エイズについて、アフリカケニアでの HIV 事情の話しを通して、関心を持ってもらうということで企画しました。内容は「最新ケニア HIV/エイズ事情 現状と課題」というタイトルで NPO 法人イルファ-副理事長 稲田頼太郎先生にご講演いただきました。講演内容は、アメリカでの HIV/エイズとの出会い、エイズ研究、NPO 法人イルファ-（稲田-ラング AIDS 財団）の設立、NPO 法人イルファ-が行ってきた日本の医療従事者の HIV/エイズ研修内容、アフリカでの HIV/エイズ事情や稲田先生が HIV/エイズ医療体制構築の為に現在活動されている、ケニアでの HIV/エイズ、スラム地域の人々の生活環境、HIV/エイズへの偏見、差別について実際にあった出来事などを話していただいた。現地での問題点として、現地の医療従事者の抗 HIV 薬服薬指導不足による耐性株出現、HIV/エイズ以外の性感染症（梅毒、B 型肝炎）の問題、抗 HIV 薬の富裕層への転売、現地の医療従事者への教育などをあげられていました。

以上の内容について、稲田先生から講演開始から終わりまで情熱を持って聴衆者の心に響く語り口でご講演いただきました。



左から3番目：稲田頼太郎先生

平成25年秋の叙勲受章の御礼

湯浅 宗一（京都府立医科大学先端検査機器開発講座・前京臨技会長）

この度、皆様のお陰をもちまして平成25年秋叙勲を受章いたしました。ありがとうございました。お礼を申し上げます。

振り返りますと、1973年3月に大阪大学医療技術短期大学部卒業、4月に京都府立医科大学附属病院臨床検査部就職以来38年間勤務し、2011年3月に無事退職いたしました。今回の叙勲は検査に長く従事したことによる保健衛生功労という分野において評価されたものです。この叙勲に際しては勤務先である京都府立医科大学をはじめ京都府臨床検査技師会や日本臨床衛生検査技師会に大変お世話になりました。

就職以来今日まで検査部での業務と同様、京都府臨床検査技師会や日本臨床衛生検査技師会を通じて大変多くの方々に支えられてきましたことに感謝いたします。京都府立医科大学においては既に稼働していた緊急検査体制の中に新たに輸血検査を取り入れることができ、京都市立病院や第一赤十字病院、第二赤十字病院と肩を並べる事ができましたことも検査部の皆さんも熱意と努力でなし得た事です。また京臨技におきましては毎年臨床検査に従事する会員を対象に各種の事業を続けてこられたのも理事の方々を始め会員の皆さんの熱意と努力のお陰です。このように考えてきますと、今回の受章は決して私自身の努力でなし得たことではなく、支えて頂いた多くの方々の熱意と努力で頂いたことが良くわかります。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

これからは京臨技の発展を祈りつつ、微力ながら努めさせていただく予定です。

今後ともよろしくお願い致します。

平成25年度京都府保健医療功労者等表彰の御礼

林 彰彦（京都市立病院臨床検査技術科・元京臨技理事）

私は、平成25年度京都府保健医療功労者等表彰式に参加し、保健医療功労者の地域医療保健部門の表彰状授与を受けましたので、そのご報告とお礼をさせていただきます。

平成25年11月7日(木)午後2時30分より、京都御所の東側にある京都府公館レセプションホールにおいて、保健医療(個人10名、3団体)・救急医療(個人3名、3団体)および看護(個人7名)の各功労者表彰式が開催されました(出席者は個人17名と6団体)。

表彰式では、山田啓二京都府知事から表彰状と記念品(作業所で作成された皿)を拝受し握手を致しました。知事あいさつ、来賓代表の多賀府議会議長の祝辞を頂き、全員の記念撮影の45分で終了となり、知り合いの方と少し歓談し散会となりました。

技師会活動では、臨床化学研究班、微生物研究班に席を置き、理事会では編集委員会等を担当いたしました。技師会関連の地域医療では、くらしと健康展(京都府医師会など)、京都病院学会(京都私立病院協会など)、院内感染対策推進事業(京都府など)のお手伝いを会員各位のご協力を得て行いました。

初期の「くらしと健康展」は大丸京都店の催しもの会場で開催され、搬入や搬出を含め1週間行われました。朝8時30分までの裏口からの入店、階段横の謎の扉から入る社員食堂での昼食、職員専用トイレの落書きなどデパートの裏側を垣間見ました。当時は血糖測定やみそしるの塩分測定などを6日間実施しましたが、人員確保が大変で臨床化学研究班班員のご協力でなんとか乗り切りました。平日と休日の2日参加、夕方の血糖測定用医療廃棄物や測定データの回収に通ったのが懐かしい思い出です。

院内感染対策推進事業では、感染制御チーム(ICT)が十分機能していない京都府内の病院の依頼を受け、毎年8施設の病院に医師・看護師・薬剤師・細菌検査技師・事務局のチームで訪れ、書類審査や病棟ラウンドを実施し終了時に講評を行い、後に報告書を当該施設や京都府に提出しました。訪れたのはほとんどが初めての病院で貴重な体験でした。このような活動は各地で始まりつつあり、平成24年度の診療報酬改定の感染対策加算に結実したと考えられます。

功労者表彰の形式は個人受賞ですが、今井会長、田畑元会長、理事会の方々や研究班の仲間、事務局の山方さんをはじめ、多くの京都府臨床検査技師会の会員の協力があったの受賞と考えております。ありがとうございました。今後も微力ながら後輩の指導の手伝いができればと思っておりますが、若い人から学ぶほうが増えてきております。

平成 25 年度京都府臨床検査技師会 第 4 回定例理事会議事録

日時：平成 25 年 9 月 12 日(木) 18:30～20:30
場所：京都保健衛生専門学校
議長：今井秀一 書記：高嶋 徹
出席理事：今井秀一・白波瀬浩幸・小澤 優・早瀬泰行・青山絹子・荻野和大・佐々木由紀子・
笹田裕司・高嶋 徹・豊山浩祥・藤崎 智・林 孝俊・林 雅弘・山田宣幸
出席監事：出席監事：江見安一
欠席理事：岡洋一郎・辻真一郎・中村和彦・廣瀬真理
理事会招集者：田畑勝好・四方 学・山方けい子

【議事録確認】

平成 25 年度一社京臨技第 3 回定例理事会議事録確認(別資料)・・・承認

【報告・連絡事項】

- 1 役員行動報告(今井)
8 月 30 日(金)京都府医療課へ次の書類を提出した
会誌訂正版、一般法人公益目的支出計画、叙勲候補者の推薦書類提出(小澤)
9 月 6 日(金)京都府京都市精度管理専門委員会出席(佐々木)
2 日臨技近畿支部報告・近臨技報告(白波瀬・小澤)
認定心電技師制度の認定検査技師機構への移行について(別資料)
日臨技精度保証施設認証制度について
3 総務部(小澤)
①一般法人公益目的支出計画 電子申請終了 8 月 27 日(山方) 入力書式が変更されており初期申請と同程度の労力を必要とした
②会誌(2014, Vol.40) 再発行(白波瀬)
京都府医療課へ会誌訂正版提出 8 月 30 日(小澤・山方)
③9 月行事予定 8 月 29 日発送 会誌訂正版同封にて全会員へ送付した
④10 月行事予定 9 月 24 日(火) 17 時発送予定 施設連絡責任者・賛助会員へ
⑤平成 25 年度日臨技近畿支部医学検査学会(第 53 回) 座長依頼を学会長より受けた(別資料)
⑥日臨技精度保証施設認証制度への協力依頼文書を受けた(別資料)
都道府県受付期間 9 月 20 日～11 月 20 日
都道府県審査機関 11 月 21 日～12 月 6 日
京都府臨床検査技師会としては 26 年 3 月 1 日説明会を行う
⑦平成 25 年度毒劇物危害防止運動の実施について京都府より協力依頼文書を受けた(別資料)
4 表彰推薦委員会
京都府からの平成 26 年春叙勲候補者の推薦依頼を受け、京臨技の歴代会長から 3 名の候補者を選出し最終候補者として京臨技元会長 1 名を 8 月末に推薦した
5 事業部 & 学術部
① らしと健康展
現在の出席は早瀬、中村、藤崎、青山、あと数名を要請
②精度管理調査
参加状況：9/6 現在 63 施設(前年比 4 施設減)、請求書発行済。参加施設をもう少し増やすよう試みる
③医療推進協議会イベント

ポスター、チラシを昨年同様枚数手配済した

【委嘱・承認事項】

- 1 会員動向(小澤)・・・別紙
会員総数 1002 名 8 月 31 日現在
8 月度 継続 7 名・新入 7 名・再入 0 名・転入 0 名・転出 1 名・退会 1 名
2 共催・後援・式典出席依頼
①京都府放射線技師会公益法人取得記念式典 出席：早瀬
平成 25 年 10 月 26 日(土) ルビノ京都堀川 午後 4 時～午後 8 時
②京都私立病院協会創立 49 周年記念式典 出席：小澤
平成 25 年 11 月 15 日(金) ホテルグランヴィア京都 午後 4 時～午後 7 時
③日本医療マネジメント学会第 11 回京滋支部学術集会 後援依頼・・・承認 平成 26 年 2 月 15 日(土) 京都テルサ

【検討議案】

- 1 日臨技全国検査と健康展について
日時：10 月 26 日(土) 10:00～15:00
京都会場：京都保健衛生専門学校 / 責任者：小澤
京臨技応援：今井・白波瀬・小澤・早瀬・高嶋・林 雅(あとは次回理事会で決定)、体験項目：骨密度 2 台・血管年齢 2 台・尿検査(それぞれメーカーに依頼する)、医師による健康相談：検査専門医会より派遣予定 日臨技へは医師 1 名の派遣を要請した、その他：簡易診療所申請はしない、検査機器はメーカーにお借りする事とする
2 市民公開講演について(今井)
NPO 法人イルファ代表稲田頼太郎博士の HIV 予防活動講演。24 日までに主意書の作成しメーカーへの共催申請、京都府や京都市への後援依頼、新聞やタウン誌、フリーペーパーなどでの広報の検討を行う
3 今年度がん予防啓発事業をどうするか(廣瀬)
明治鍼灸大学にてセルネット加藤氏による講演会開催を検討
4 今年度 HIV 予防啓発事業をどうするか(藤崎)
京都保健衛生専門学校にて昨年と同じく深田先生による講演会開催を検討する
5 新入転入研修会および会員懇親会について(笹田・高嶋) 後日、各理事の担当を決定し、手分けして所属施設長へ電話連絡をして新入転入会員へ参加要請する
6 京臨技 HP からのメールでの問い合わせについて(総務 高嶋)・・・別紙、別紙案をたたき台として今後理事会および情報研究班にて検討を進める
【その他意見交換】
JAMTIS の研修会情報について(林・荻野)
1. 研究班からの申請の段階で行事名に「事前登録制」と入れていただくことにする
2. JAMTIS 登録時にタイトルに「事前登録制」と入れる
(例) 生理分野研修会「事前登録制」[学 13-099]とする
3. 登録画面中段の「事前参加登録」は「無し」にする
4. 登録画面「コメント欄」に「事前登録制」詳細は京臨技 HP をご覧下さい」と入れる
平成 25 年度第 4 回定例理事会予定
日時：平成 25 年 10 月 10 日(木) 18:30～20:30
会場：京臨技丸太町事務所

**平成 25 年度京都府臨床検査技師会
第 5 回定例理事会議事録**

日時：平成 25 年 10 月 10 日(木) 18:30～19:30

場所：京臨技丸太町事務所

議長：今井秀一 書記：佐々木由紀子

出席理事：今井秀一・白波瀬浩幸・荻野和大・林 孝俊・佐々木由紀子・林 雅弘・中村和彦・高嶋 徹・山田宣幸・藤崎 智

出席監事：江見安一

欠席理事：小澤 優・早瀬泰行・廣瀬真理・豊山浩祥・青山絹子・岡洋一郎・辻真一朗・笹田裕司

理事会招集者：田畑勝好・清井健司・山方けい子

【議事録確認】

平成 25 年度一社京臨技第 4 回定例理事会議事録確認(別資料)・・・承認

【報告・連絡事項】

1 役員行動報告(今井)

報告事項なし

2 日臨技近畿支部報告・近臨技報告(白波瀬)

この間会議が開催されていないため報告事項なし

3 総務部(林雅)

① 平成 25 年度京都府医療功労者表彰者の決定通知

林彰彦技師(京都市立病院) 当日は随行者なしで本人のみ出席

② 発送物

10 月行事予定 9 月 24 日(火)発送 福井学会ポケットブックは日臨技会員へ郵送

11 月行事予定 10 月 24 日(木)17 時発送予定 施設連絡責任者・賛助会員へ

③ 日臨技精度保証施設認証制度への協力依頼文書を再依頼

都道府県受付期間 9 月 20 日～11 月 20 日

都道府県審査期間 11 月 21 日～12 月 6 日

現在のところ申し込み施設なし

4 事業部&学術部

① 新入転入研修会・会員交流会(高嶋)

平成 25 年 10 月 4 日(金) 場所：ホテル京阪京都

参加者：58 名 (新入転入会員：28 名 理事・班長・他：30 名)。JAMTIS 登録済 研修会・交流会は同じ担当理事が行う方がよい

② 京臨技精度管理調査参加 66 施設になりました(豊山)

平成 25 年 10 月 22 日(火)サンプル発送(京都保健衛生専門学校)

③ ぐらしと健康展 平成 25 年 10 月 20 日(日) 京都府医師会館(藤崎)

理事 5 名と一般会員 4 名の出務者確認 測定人数 800 名の予定で準備済み

【委嘱・承認事項】

1 会員動向(林雅)別紙・・・承認

会員総数 1,006 名 9 月 30 日現在

9 月度 継続入会 1 名・新入 3 名・再入 0 名・退会 1 名・転入 1 名・転出 0 名

2 共催・後援・出席依頼

① 市民公開シンポジウム後援依頼(別紙)・・・承認

日時：平成 25 年 12 月 7 日(土) 会場：メルパルク京都 主催：日本放射線技術学会

テーマ：「狭心症にかからないために」

② 第 33 回日衛協近畿支部臨床検査大会 参加依頼(別紙)・・・出席予定：中村

日時：平成 25 年 11 月 11 日(月) 会場：シェトラン都ホテル大阪

③ 『世界糖尿病デー』糖尿病対策講座・ブルーライトアップ事業後援依頼(別紙)・・・承認

日時：平成 25 年 11 月 14 日(木)18 時～22 時

ブルーライトアップ(京都府庁舎・京都市庁舎・二条城・京都タワー・東寺五重塔)

日時：平成 25 年 11 月 17 日(日)14 時～17 時 場所：京都府医師会館(定員 350 名)

糖尿病対策講座(講演・健康チェック・健康相談など)

【検討議案】

1 日臨技全国検査と健康展について

日時：平成 25 年 10 月 26 日(土)10:00～15:00 理事集合時刻 9:30

京都会場：京都保健衛生専門学校 3 階実習室

人員：京臨技(今井・白波瀬・小澤・早瀬・高嶋・山田)学校職員数名, 体験項目：骨密度 2 台(今井・白波瀬)・血管年齢 2 台(山田・高嶋), 尿検査 1 台(他 1 名)・簡易ヘモグロビン 1 台(早瀬・小澤), 健康相談：医師 1 名

2 平成 25 年 11 月 17 日(日)市民公開講演(今井)

京都府・京都府医師会・保険医協会・私立病院協会へ後援を申請中(担当：今井), メーカー広告共賛 7 社が予定(担当：今井), 当日一般参加者へアンケートを行う(作成担当：林孝)

当日配布の一般参加者向けパンフを日臨技へ問い合わせる(担当：小澤), 輸血・免疫・微生物の研究班へも協力要請中(担当：荻野), 当日のタイムスケジュールや当日の役割分担を早めに知らせる(今井)

理事は全員参加できるよう日程調整を

3 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会の推薦(別紙)(今井), 高嶋理事を推薦することで確認

4 STI 予防啓発事業(藤崎)

日時：平成 25 年 12 月 18 日(水) 15:00~16:30

会場：京都保健衛生専門学校

講師：深田寛江子先生 日臨技へ企画書提出済み

5 がん予防啓発事業(廣瀬・白波瀬)

子宮がんについて若い人向けの講演を行う 仏大等にて開催できないか打診する

6 京都府医療推進協議会イベント 出店枠申し込み済み(辻)

京臨技として提供可能景品に関して過去に出品していないので今回も出品しない

【その他意見交換】

日臨技より検査部門・会員アンケート事前調査(別紙)に関する意見交換

意図は理解できるが、内容が多すぎて書き辛い。個人向けと、職場向けがあるが、数多くの回収を目論むならもう少しスリム化を。

平成 25 年度第 6 回定例理事会予定

日時：平成 25 年 11 月 14 日(木) 18:30~20:30

会場：京都保健衛生専門学校 大会議室

生涯教育研修会報告書

事業部 事発番号 第 13-011 号

行事名：全国検査と健康展 京都会場

日時：平成 24 年 10 月 26 日（土）10:00～15:00

場所：京都保健衛生専門学校

主 題：健康チェック・検査説明・健康相談

健康チェック参加数： 73 名

健康相談参加数： 39 名

日本臨床検査専門医会 3 名

京都府臨床検査技師会 7 名

報告者：小澤優（京都保健衛生専門学校）

<内容>

「全国検査と健康展」は日臨技が国民に臨床検査を知ってもらうために今年度から全国 47 都道府県で開催する事業です。京都会場は学校祭で賑わう京都保健衛生専門学校で開催しました。検査項目は血管年齢・骨密度・尿検査（pH・糖・蛋白・潜血・ケトン・ビリルビン・ウロビリノゲン）・簡易ヘモグロビン。

検査結果説明と健康相談は日本臨床検査専門医会より佐守友博会長ほか 2 名の医師を派遣していただき実施しました。

参加者は合計 73 名、健康相談を受けた方は 39 名でした。

検査体験、健康相談のほか、日臨技より提供されたクリアファイルや小冊子「検査のはなし」を配布し多くの一般市民の方々に臨床検査について知っていただき、また臨床検査が病気の診断や治療そして健康を維持するために、いかに大切であるかを説明しました。



日臨技近畿支部研修会・講習会のご案内

輸血講習会

- 【テーマ】現場で活躍できる輸血検査技師を目指して
- 【日 時】平成 26 年 2 月 15 日（土）～16 日（日）
- 【会 場】奈良県橿原文化会館

血液検査研修会

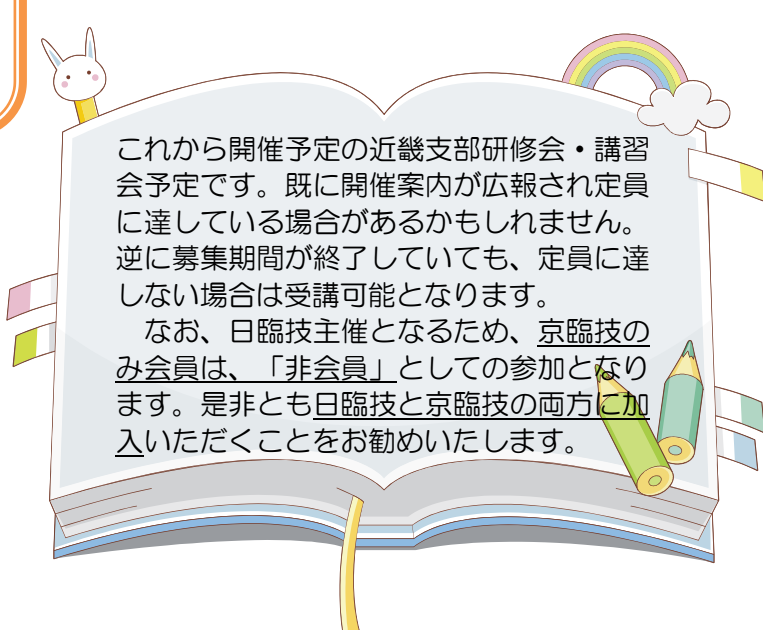
- 【テーマ】造血器疾患の診断と治療 ～初心者のために～
- 【日 時】平成 26 年 2 月 15 日（土）～16 日（日）
- 【会 場】和歌山県立医大 生涯教育センター

臨床化学検査研修会

- 【テーマ】検査室および個人の検査力を高めよう！
- 【日 時】平成 26 年 2 月 23 日（日）
- 【会 場】福井県敦賀市 プラザ萬象

一般検査研修会

- 【テーマ】一般検査をより理解するための必要な知識
- 【日時】平成 26 年 2 月 23 日（日）
- 【会場】関西医科大学附属滝井病院



これから開催予定の近畿支部研修会・講習会予定です。既に開催案内が広報され定員に達している場合があるかもしれません。逆に募集期間が終了していても、定員に達しない場合は受講可能となります。

なお、日臨技主催となるため、京臨技のみ会員は、「非会員」としての参加となります。是非とも日臨技と京臨技の両方に加えていただくことをお勧めいたします。